

諏訪社大祭

一丁目総務部 五十嵐有子

例年では、諏訪社大祭と自治会の姥ヶ山まつりが合同で行われますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大の為、姥ヶ山まつりは中止となり、諏訪社大祭は、神事のみで八月二十七日に、最小限の人数で行われました。

諏訪社大祭の神事は、供物を神様にお供えし、「五穀豊穣」「商売繁盛」「家内安全」「地域の安寧」などを願う祝詞が読み上げられ、皆で神様に祈りを捧げます。

今年は、誰もがコロナの終息を願ったと思います。

毎年八月二十六日・二十七日に諏

訪社大祭は行われます。諏訪社氏子会の皆さんと年番で準備から当日の接待等を行います。

年番とは、一つの班が五軒で構成されています。現在は、十八班が毎年順番に担当しています。

今回は、諏訪社氏子会副会長の岡本さんに、お供え物の「つっこ」作りの取材と、今年の年番長の阿部さんのお二人に、諏訪社のお話を聞かせて頂きました。

「つっこ」とは、玉子をお供えする為に、藁を束ね両端を縛って固定します。穂が出る前の長めの藁を一年前から用意して使いますが、青みを残したまま保管する事が難しいそうです。作る時は、藁で玉子を一つずつ固定しますが、藁を緩めると外れ、玉子にかかる力によっては割れてしまいます。相当な技量が必要な事は、見ていても分かりました。

岡本さんが大事にしているのは、見た目が形良く綺麗に作る事です。完成したつっこは、本当に見事でした。



阿部さんと岡本さん

地域の皆様に心より感謝申し上げます。

岡本さんによると、夫婦は庭のいちじくをジャムにされて、お土産に持たせてくれました。人の優しさや暖かさが伝わりました。

最後に、取材にご協力頂いた地域の皆様に心より感謝申し上げます。

今年の様な環境でも、皆が知恵を出し力を合わせて、無事に諏訪社大祭を行なう事が出来ました。

取材にご協力下さいました阿部さんご夫婦とは、楽しい会話が尽きず、気づけば三時間も話し込んでました。

岡本さんによると、夫婦は庭のいちじくをジャムにされて、お土産に持たせてくれました。人の優しさや暖かさが伝わりました。

最後に、取材にご協力頂いた地域の皆様に心より感謝申し上げます。

昔は、神社のしめ縄は、農家の方達が自分の所で刈った藁を持ち寄って作ったそうです。阿部さんの父親は、戦争で出兵する時に、皆で神社から見送ったそうです。

ほとんどの家が農家だった時代、隣近所で助け合わなければ農業も生活も成り立ちませんでした。だからこそ強い絆が生まれ、神社に対しての信仰心も特別だったと思います。

時代が変わつて世代交代となり、農業は機械化され、生活様式も変わりました。

それでも、地域の絆は今も引き継がれています。姥ヶ山の行事での素晴らしい団結力。行事がある事で顔合わせができる、コミュニケーションが生まれました。

それでも、地域の絆は今も引き継がれています。姥ヶ山の行事での素晴らしい団結力。行事がある事で顔合わせができる、コミュニケーションが生まれました。



諏訪神社 子供三〇人 大人一〇人
桜が丘小学校 供九〇人 大人四〇人
来年度も実地したいと考えています。
多数の方の参加をお願い致します。早朝より参加して頂いた自治会役員担当部員の皆様、有難うございました。

対策としては
①マスクの着用
②間隔を広くとる
③体操カードに押印はしない
④実地期間の短縮
体を動かして、筋肉をバランスよくほぐす事で、ストレス解消になります。

本年度のラジオ体操は、新型コロナウイルス感染拡大影響で、例の様に実地できるかどうか判断するのに大変迷いました。

ただ感染防止のためだけで、中止の決定をするのは簡単ですが、ラジオ体操の主役である子どもたちの事を考えると、何とか実地できないものかと、近隣の自治会の動向や、新潟市の市民生活部や、自治会役員の方々と協議を重ねた結果、新潟市地域活動ガイドラインに示された対策を、できる限り取り入れて実地することにしました。

文化育成部長 本間康夫
夏休みラジオ体操

文化育成部長 本間康夫
夏休みラジオ体操

衛生部長 小熊由紀夫
アメシロ駆除

衛生部長 小熊由紀夫
アメシロ駆除

本年度のアメシロ駆除は、例年通りに行えるものと思っていた所が、冬頃から新型コロナウイルスの拡大が始まってしまった。

この感染症、初めはさして気にもしていなかたが、潜伏期間が長く決定的になら新型コロナウイルスの感染拡大が始まってしまった。

当姥ヶ山自治会でも、春のクリーン作戦と、統いて行われる一斉下水溝清掃を中心とした。

アメシロ駆除も、どうするか迷いましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の一つである三密を避けて作業をする事も可能と判断し、実施する」とで案内を出しました。

例年は、六月と八月下旬頃の二回行つていて、この時期、新潟ではウイルスの感染が落ち着いていたので実行する事が出来ました。

アメシログループによつては不安で様子を見ていましたが、アメシロが発生した事で駆除は行なわれました。

なお、アメシログループのない地域の人達では、個人または少人数で行われた事が出来ました。

自治会では薬品の提供と背負い式噴霧機の無料貸出しを行つています。必要な方は町内の役員に申し出下さい。

よその町内では、アメシロの被害によつて無残な木をみかける事がありますが、姥ヶ山ではありません。これは、この事業が意義ある事になつてゐるため思います。

アメシロ駆除に参加協力して下さった方々、ありがとうございました。